

施策カルテ

様式 2 1 施策の位置付け

総合計画 政策の柱	持続的発展が可能な都市の自治基盤を確立するために	政策名 (基本施策名)	市民の相互理解と共生のこころを育む	取組の 基本方向	「市民の相互理解と共生のこころを育む」ため、市民一人ひとりがあらゆる人権を守るための「かけがえのない個人の尊重」、社会のあらゆる分野に男女がともに参画していくための「男女共同参画の推進」、在住外国人が地域社会において安心して日常生活を送ることのできる「多文化共生の地域づくり」に、重点的に取り組みます。	政策目標 (基本施策目標)	市民の誰もが思いやりのこころを持ち、差別や偏見を持つことなく、相互理解と共生のこころが育まれています。
--------------	--------------------------	----------------	-------------------	-------------	---	------------------	---

2 施策の現状と達成状況、課題の抽出

施策名	男女共同参画の推進						達成率 (%)
	施策指標(単位)						
施策目標	男女が、社会のさまざまな分野へ、ともに参画しています。						
施策を取巻く環境	少子高齢化の進行や人口減少時代の到来、経済情勢の悪化など、大きな転換期を迎える中、個人の価値観やライフスタイルの多様化に伴い、仕事と家庭・地域生活など多様な活動を自らの希望に沿った形で展開できる社会の実現につながる施策事業が求められている。						
市民の 施策満足度	19.3%	達成度 (単年度目標)	達成している (90%以上)	概ね達成 (70%~90%未満)	達成していない (70%未満)	説明	現状 課題 分析 の 抽出
市民の 施策重要度	61.1%	必要性 (住民・社会ニーズ)	増加している	横ばい	減少している	説明	
		効率性 (事務事業の進捗)	十分である	不十分な事業が 一部ある	不十分な事業が 複数ある	説明	
		有効性 (政策目標への効果)	十分である	やや不十分である	不十分である	説明	

3 今後の取組方針

取組の 考え方	第2次男女共同参画行動計画に基づき、市民啓発事業、ワーク・ライフ・バランス推進事業等を着実に推進していく。なお、推進にあたっては、社会情勢や市民ニーズを捉え、市民団体や事業者、教育関係者との連携強化を図りながら、より効果的に事業を推進していく。	政策評価 会議意見	第2次男女共同参画行動計画に基づき、ワーク・ライフ・バランスの推進など、男女がともに仕事や家庭生活、地域活動など様々な分野に参画できる社会づくりに向け、各種の啓発事業に取り組んでいき、「男女共同参画の推進」に係る市民満足度と重要度はやや低い状況にある。このため、今後は、より多くの幅広い世代の意識醸成を図れるよう、市民団体や事業者、教育関係者との連携強化を図りながら、多角的・効果的に事業を推進していくこと。
------------	--	--------------	--

4 施策を構成する事務事業一覧

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	H19	H20	H19	H20	優先度	事業の 方向性	施策目標を達成するための取組方針
					目標値	目標値	事業費 (千円)	事業費 (千円)			
1	市民啓発事業 担当課 男女共同参画課	市民, 児童生徒, 教育関係者	H19	市民啓発講座開催回数	15	23	1,836	1,711	A	継続	男女共同参画社会の実現のためには、市が積極的に啓発活動を実施していく必要がある。今後は、より効果的な手法を検討するなど質的向上を図るとともに、市民団体や教育関係者との連携を強化しながら、市民一人ひとりの意識の醸成に向けて、中長期的な視点に立って取り組んでいく。
					実績値	実績値					
2	ワーク・ライフ・バランス推進事業 担当課 男女共同参画課	市民及び事業者等	H20	事業者訪問件数	50	36	313	959	A	継続	働き方の見直しや雇用環境整備の促進を図るワーク・ライフ・バランスを推進することは必要であり、施策目標を達成するために有効であるが、経済情勢が悪化しており、その状況を踏まえながら、企業や勤労者の理解促進を図るとともに、企業等における取組の促進を図れるよう新たな手法についても検討をする。
					6	5					
3	ときめく未来へ参画会議・フェスティバル交付金 担当課 男女共同参画課	ときめく未来へ参画会議・フェスティバル実行委員会	H19	参加者数	1,000	1,000	708	813	A	継続	ときめく未来へ参画会議・フェスティバルを市民協働で実施することは、広く市民の意識啓発を図る上で効果的であり、今後は、より多くの幅広い年齢層の市民の参加が得られるよう工夫・検討しながら継続実施していく。
					935	956					
4	ファザーリングフェスタ交付金 担当課 男女共同参画課	宮っこフェスタ実行委員会	H20	宮っこフェスタ来場者数	8,000	11,000	3,000	A	継続	宮っこフェスタにおいて、ファザーリング(父親であることを楽しむ生き方)を広く市民に啓発することは、父親の家庭生活への参画を促進するとともに、ワーク・ライフ・バランスの促進につながるから有効であり、今後さらに、ファザーリングを広め、父親の日常的な取組につながるよう手法を検討しながら継続実施していく。	
					200	350					
5	宇都宮市女性団体連絡協議会補助金 担当課 男女共同参画課	宇都宮市女性団体連絡協議会	S62	主催事業の開催数	2	2	510	510	B	継続	多くの市民が参加する事業を確実に実施しており、施策目標の達成に向けて貢献している。また、男女共同参画社会の実現には、市民団体等との協力・連携が不可欠なことから、団体活動を促進し市民協働による啓発事業の一部を補助していく。
					2	2					
6	男女共同参画社会の実現を目指すつのみや市民会議補助金 担当課 男女共同参画課	男女共同参画社会の実現を目指すつのみや市民会議	H9	主催事業の開催数	5	5	468	468	B	継続	主催事業など確実に実施しており、施策目標の達成に向けて貢献している。また、男女共同参画社会の実現には、市民団体等との協力・連携が不可欠なことから、団体活動を促進し市民協働による啓発事業の一部を補助していく。
					4	4					
7	海外研修派遣市負担金 担当課 男女共同参画課	市内に居住する満36歳以上55歳未満の女性で、積極的に男女共同参画等の分野で活動している指導的役割を果たす市民	S55	派遣人数	2	1	129	179	C	継続	海外研修終了生の多くが本市男女共同参画推進のため、地域においてそれぞれ活動しており、一部貢献をしている。今後は、本市の主催事業等への一層の参画を促すなど、修了生の積極的な人材活用にも努めていく。また、男女共同参画の実現には、国際的な視野をもった地域リーダーが必要であることから、県の派遣事業を継続していく。
					1	1					
8	結婚相談事業 担当課 男女共同参画課	市内に居住又は勤めている独身者	S25	相談件数	2,000	2,000	2,251	2,225	C	継続	男女が家庭を築きより豊かな生涯を送るために、結婚を希望する独身男女の出会いの場をつくることは必要であるが、社会状況等を踏まえながら登録制度を含めた事業内容の見直しについても検討していく。
					1,630	1,992					
				登録申込者数	300	300					
					249	236					
施策事業費合計							6,215	9,865			